

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	正面玄関、棟内と分かりやすい場所、見やすい場所に掲示。スタッフ一同、各利用者1人1人の「あなたらしさ」を大切にし、その暮らしを支えていくサービスとし事業所独自の理念をつくりあげている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者1人1人の「あなたらしさ」はどうゆうものなのか？スタッフ同士話し合い日々業務に取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	正面玄関、棟内へ大きく掲示。面会やいつでもいらしたときに分かりやすくしている。行事を通して理念を伝えている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣の雑貨屋さんなどが、水曜日は衣料店、土曜日は食料出張販売有り。又美容院や床屋の出張も有り。地域の方とは、町内の祭り、当施設への慰問等にも参加し交流を深めている。最近では近くにある保育所の慰問を受ける等、又町主催の芸能イベントには欠かさず参加している為、今では招待状が届く様になった。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎月の定例会やスタッフの勉強会などで話し合いをすることで、全職員が意義を周知できている。	
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者、家族、地域の方、行政担当者、地域包括支援センター、スタッフが参加して行っている。サービスの提供状況を報告しその事に対し意見を頂いており、サービス向上に活かしている。	
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議にて積極的に意見を交換しており、認定調査、困難事例等医療機関の対応等も協議しアドバイスを受けている。施設内での行事、出来事等を随時報告。様々なアドバイスを活かしサービスの質の向上に取り組んでいる。	
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修やグループホームの勉強会にて学ぶ機会あり。現在制度を利用している方はいないが、必要な方には活用できるよう支援していきたい。又機会があれば県社協で開催している「市民後見人養生講座」も受講したい。	
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法に関してはスタッフ皆、理解している。マニュアル有り。日々のケアでは、特に言葉遣いに注意する事はもちろん入居者の尊敬を第一に考え取り組んでいます。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族、本人と話し合い、十分な時間を設け、理解、納得できる様努めている。又、入院に及んでしまった時の経過時には移転先も紹介する等している。	
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加し、外部者へ意見等を話せる機会を設けている。意見、不満を言い表せない方に対して、表情、行動等から不満、不安を察する様取り組んでいる。	
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者の様子として毎月メッセージを送っている。又、特変や受診時又は受診後の連絡は必ずするが、検査結果についての先生の説明は家族も同席してもらえるよう声掛けしている。	
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	棟内の入り口には箱を設置。家族の方が気軽に意見を話せる様にしている。電話で家族とのコミュニケーションも図りながらこの運営に努めている。	
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、定例会、勉強会を開催している。又、それ以外にも日常仕事をしている時に都度、意見を聞く機会あり。とにかく「やってみよう」というスローガンの基、行動に移す事を心掛けている。	
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況に合わせた人員の確保をしており、時間の調整は必要に応じ都度行っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者にとって馴染みのあるスタッフによる支援を継続し対応出来る様になっている。例え他棟への異動があったとしても行動を一緒に行いその場で交流を深めたり日常生活時に会った際は、声をかけている。		
5. 人材の育成と支援			
17 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	様々な研修には出来るだけ多くのスタッフが参加できる様、する様、努めている。そこで学んだ事を日常の仕事に活かし行う様にしている。(他スタッフにも学んだ事を教える) 定例会は毎月給料日、勉強会は月末と日程を決めて行っている。		
18 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	推進会議や他施設との交流会参加。意見交換等を行っている。そこで学んだことを活かし業務に取り組んでいる。推進会議には同業者の方の参加もあり情報収集はもとより質の向上を目指している。		
19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフの休憩時間、休憩場所を設け出来る限りストレスを軽減できる様努めている。年1回、2班に分けて一泊の社員慰労会又は行事後の打ち上げ等を企画している。		
20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	健康診断の実施を行いスタッフの心身の健康を保つ為の体制を整えている。インフルエンザ予防接種。又、都度職員には、利用者に対しての接遇と尊厳をもつよう話している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用する前に本人の情報の提供を頂き本人と家族と面談。よく話し合いをする機会を作っており、困っている事や不安な事等を受け止め利用者はもちろん、家族に対するケアにも心掛けている。	
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人、家族の思い、状況を確認。ニーズの改善に向け努めている。必要に応じては関係機関との連携を図っている。	
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の目線で本人を理解、把握し家族との話し合いを密にし本人と家族の間にいい距離が保てる様スタッフが気配りをしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の心情を理解するよう努めている。その人らしさを引き出しつつ今までの暮らしに敬意をもち、これから生活していく上で希望をもって頂く様理念に基づいてお世話をしている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	時には写真を同封したり、毎月状態報告をしている（メッセージ）。行事にも参加していただくよう招待状を出し、参加する家族も増えつつある中でも、家族の思いを把握し共有するよう心掛けしている。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の思いの代弁者になりつつ家族の心情も考え電話もしくは来所時に話している。夏の墓参り支援もその一環である。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	関わってきた人や場所を把握し、電話や写真で交流できるよう努めている。面会時も歓迎し次回の再会をお願いしている。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	1人1人を理解しつつ、得意分野を活かした仕事の役割を持っている。個性を活かし時にはチームリーダーを作り、時には担当者という様に個々の存在をアピールできる様心掛けている。		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院やサービス利用が終了になった際にも家族の相談にのり、利用者や家族の関係を断ち切らないよう入院先を訪問してみるなどの信頼関係を保っている為、家族より感謝される事が多い。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の視点に立ち、思いや意向を把握し理解をするよう努める。時には家族に協力を要請したり困難な時スタッフが家族になったり本人の意向を叶えられる様努力している。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人と回想法に準じた会話で過去を模索しながら、家族から情報収集を行うなど、生活歴や価値観を把握する。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の生活リズム・体調変化を把握している。午後はラジオ体操、レクリエーションゲーム等の参加を通じて観察し把握する様にしている。	
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	3ヶ月に1度の計画の見直しは必須で行い、都度ミニカンファレンスを開き情報交換をしている。今必要な事、今困っている事をいち早くとらえ、それに対し本人らしく生活できるよう利用者や家族の意見を聞き、職員での十分な話し合いをし作成している。	
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	実施期間の明示・終了後は見直しを行う。期間に関わらず状態の変化や希望の変化時は見直しを行い、柔軟かつ臨機応変に対応し作成している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
35 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人一人暮らしの様子、身体状況を具体的に記録している。申し送りノート・業務日誌で情報を共有し、記録内容を全職員が共有出切るように整えている。介護計画の実践・結果を記録している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
36 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族のニーズに応じて、受診・外出の移送支援を柔軟に対応している。又、墓参り支援など職員の付き添いにて参加している。又併設しているデイサービスの慰問は利用者の欠かせない楽しみのひとつとなっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
37 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域ボランティアを把握し、協力の呼びかけもし、消防機関等からの協力が得られるよう働きかけを行っている。消防機関に関しては夜間緊急連絡網に消防隊員の名前が連なっている様に協力要請はできており町民際の見学、近隣保育の慰問と協力を得ながら支援している。		
38 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要とする場合には、他事業者との話し合いや利用する為の支援を行うが現在はありません。		
39 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今後制度を利用するにあたっては、地域包括支援センターや関係機関と連携し努めていきたい。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入居当初、本人に不安なく慣れて頂く事から始め、別の居所へ移る際も、アセスメント支援状況を提供、情報交換を行っている。又、退所後も情報を提供している。精神的なダメージを軽減する様努める。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>スタッフは言葉使い、対応の方法に対して一人一人の誇り、プライバシーに配慮していく事を認識し業務に取り組んでいる。記録等の個人情報は、利用者や訪問者の目の届かない所に置いている。</p>	
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>説明する際は、ゆっくり発言する様にしている。又、ジェスチャー等を用いたり行っている。買い物等、水曜日土曜日の出張販売にて自分で決めたりという場面があり。見守りはあるものの支払は自己で行う様にしている。</p>	
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な流れはあるものの仕事の始まりは朝礼で老人の状態によって決まる。生活の流れとしては利用者のペースや希望に合わせて行っている。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>馴染みの理美容の出張サービスを利用している。本人の好みの援助しネイルアートを行っている。季節に合った衣類の衣替えを促している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
52	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
53	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
54	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
55	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	月にお小遣いの額を決め、その範囲内で自由に食べ物や趣味の物など買い物を楽しんでいる。自己管理出来ない方はステーションにて預かり、いつでも使用できるようになっている。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブ・ショッピング・遠足等に出かけ楽しめるよう支援している。夏場は常に外出、ドライブ、畑仕事と戸外に出るようにしている。		
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別にて、お盆にはお墓参りをしている。普段行けない所として遠足やあやめ祭り、弘前でサクランボ狩り体験をする。さくら祭りは家族も参加してくれている。		
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話がしたい場合は、公衆電話を使用する。出来ない場合はスタッフが代わりにお話をしたりと支援している。施設内の生活状況を泉の里だよりとして家族に郵送している（毎月）		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも面会に来てくれるようになっており、面会に来た際は、利用者の居室へ移動しゆっくり、楽しんで会話出来るよう対応している。		
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について研修、交流会にて学ぶ。利用者の危険を防ぐ為などの、やむを得ずの場合を考え家族とも相談し、同意書を作成しているが基本的に身体拘束は行わないものとしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
64	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
65	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
66	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
67	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
68	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	同意書という形で家族の理解を得ている。家族の方へ報告している。すぐに行動を止め様とする対応をせず見守り重視。緊急時は施設のマニュアルを施行する事となっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	「気付き」を大切にし、少しの変化も見逃せない様注意している。変化があった時はすぐに看護師に報告する事で早期対応できている。速やかに専門医に受診している。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を利用者様の生活記録ファイルに挟んでおり、いつでも確認できるようにしている。薬の変更、追加があった時には、申し送りノート、受診ノートに記入し、口頭での申し送りも行い、周知徹底している。服薬は都度手渡し服用確認している。		
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄パターンやチェックを行い管理し把握している。便秘症の方には乳製品摂取や腹部マッサージ等を行い、自然排泄を促している。必要に応じては、医師に相談し、なるべく負担にならないように下剤服用の量、時間を調整している。		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、義歯洗浄、歯磨きを行い、ケアしている。夕食後は洗浄剤に浸し、汚れや臭いの原因となるものを除去し清潔を保持している。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに配慮した献立づくりをし個々の食事、水分摂取量を記録に残し栄養状態の把握に努めている。栄養士に相談できる体制となっており助言を求めている。必要に応じて栄養補助食品を取り入れている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染性予防、対応マニュアルが目につきやすい所に掲示している。マニュアル等に基づいて勉強会等で学習する機会を設け、常に消毒を徹底している。インフルエンザ予防接種も受けている。		
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所にて使用する布巾については毎日消毒、洗濯している。又冷蔵庫もオスバン消毒している。冷蔵庫に入っている物は常に日付チェックしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	庭には植木、季節事に咲く花も植えており、玄関も木造でゆったりとした木の香り楽しんでいただけ開放感のあるつくりとなっている。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間を広々ととり、ゆったりとした建物になっている。光についてはカーテン等で調整。春、夏、秋については、その時期に咲いた花や紅葉を棟内へ飾って季節感を取り入れている。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	棟内には、ソファがあり、畳もあっていつでもゆっくり過ごせる様対応している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	使い慣れた物を使用したり収納できるスペースは 十分とっており、本人自ら家族の写真を飾った り、自分で撮った写真を飾ったりと、自宅にて過 ごしていた時のように努めている。		
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	臭いや空気の淀みが無いよう都度換気している。 棟内には温湿度計を設置し、加湿器、水カーテン でも調整している。また光触媒による消毒も行っ ている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	施設内はバリアフリーであり、本人の要望に合わ せて手摺りを設置している。利用者に合わせベッ トにも手摺りを設置。トイレは利用者の身体状況 に合わせ扉をはずしカーテンを設置している。		
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	各居室には本人の表札を表示。ホールの座る位置 も出来るだけ変えないようにしている。混乱が生 じた場合は、素早く対応する。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動でき るように活かしている	庭には花や植木、野菜畑があり、1人1人楽しん だり活動出来るようにしている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・夏祭りには、家族、地域の皆さん、利用者さんも参加してのねぶた運行を行っている。又、その中でも花火（打ち上げ花火）が毎年あり楽しみの1つです。
- ・スタッフのボランティア参加が多い為、色々と外出を楽しめている。（小旅行、花見、ショッピング等）特に町内（町民際）のブライダルショーは夜遅いのですが皆さんの協力も有り継続し参加できています。
- ・野菜畑があり、利用者、スタッフと一緒に収穫を楽しんでいます。